

2019 年度幹事会活動報告

【目的】北信圏域の障がい者福祉の現状と課題を踏まえながら、地域に必要とされる取り組みや施策の実現に向けて、さまざまな検討協議を行う。また、協議会が円滑かつ効果的に機能するための検討協議を行う事を目的とする。

【主な活動】

幹事会 (年5回)

- 相談支援専門員の活動報告を受け、地域の課題について検討を行っている。
- 第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画が今年度は計画の中間年となる。前年度どこまで進捗したのか検証し、今後力を入れるべき課題は何か等検討した。今後も市町村課題検討WGや各部会と連携し、整備を推進していきたい。

市町村 課題検討 WG (月1回)

- ケアプラン研究会にて、事例を基にししながら、サービスの支給決定を行う行政の立場から見た適切なプランの視点、制度の活用等を学習した。
- 圏域内の相談支援専門員との情報共有交換会を8・1月に実施。GSV（グループスーパービジョン）を行い、ざっくばらんに意見交換等を行う事で、よりスムーズに連携し、地域課題の把握・解消につなげることを目的としている。
- 今年度検討したい課題として、以下の様な課題があがっていた。
 - ・災害時の個別避難計画について…相談支援専門員との情報交換会で共有。今後具体的に進めていけるようにする。
 - ・北信圏域の障がい児支援体制について（北信圏域の歴史と現状を学ぶところから）…7/19に学習会を実施。
 - ・成年後見制度利用促進のための中核機関の設置のための協議の場について
 - ・児童発達支援センターの設置について…10月に長野市にある児童発達支援センターを視察。現在北信圏域の実情に合ったスタイルを検討中。

地域生活支援 拠点等事業 検討会 (月1回)

- 地域あんしんコーディネーターの活動や空床2床の利用実績等の報告を受け、地域課題の検討に繋げている。
- 今年度はコア会議を設け、さらに地域全体で支える仕組みを作っていけるように検討している。その1つとして、地域生活支援拠点等の機能を担う事業所として認定を受けた事業所との会議を設けた。認定を受けている短期入所事業所に集まっただき、現状と課題を共有。
- 支援者の専門性向上のための研修会を4回企画・実施。その内、第2回研修会は精神部会と共催で実施した。

【今年度の成果と来年度へ向けて】

- ・来年度は第5期障害福祉計画の最終年となる。各部会と連携して協議検討を行い、目標達成に向け取り組んでいく。またその上で、第6期計画の作成を進めていく。
- ・幹事会をエンジンとして、自立支援協議会が今後も円滑かつ効果的に機能するよう取り組んでいく。